

なぜ小清水町なのか？
～工場誘致までの経緯～

- 2月11日(土)、第二回小清水屋台村(これぞ小清水!!実行委員会、小清水青年会共催)が愛ホール及び、トレーニンングセンター前駐車場において開催されました。愛ホールでは、町と辛子めんたいごなどを製造・販売する(株)山口油屋福太郎(福岡市)と小学校校舎(北陽水上)の売買に関する仮契約式が、町民約250名が見守る中、執り行われました。
- 今後、北陽小学校はせんべい工場として、水上小学校は野菜等を使った加工品製造工場として改修される予定です。
- 2月11日(土)、第二回小清水屋台村(これぞ小清水!!実行委員会、小清水青年会共催)が愛ホール及び、トレーニンングセンター前駐車場において開催されました。
- 愛ホールでは、町と辛子めんたいごなどを製造・販売する(株)山口油屋福太郎(福岡市)と小学校校舎(北陽水上)の売買に関する仮契約式が、町民約250名が見守る中、執り行われました。
- 今後、北陽小学校はせんべい工場として、水上小学校は野菜等を使った加工品製造工場として改修される予定です。
- 仮契約式後には同社の山口毅社長による講演が行われ、小清水町へ工場進出を決めた経緯などが語られました。(講演会要旨は下段に記載しています)
- また、屋台村会場では、でんぶんだんごや沖縄そばなどの飲食店、大滑り台やスノーモービル牽引バナナボートなどのアトラクション、青年交流会事業にて来町している沖縄県の青年たちによる琉球空手演舞も披露され、訪れた観客や子どもたちで賑わいを見せていました。



△屋台村を取材に来ていた福岡のテレビ局に北陽小学校の児童たちが紹介されました。



屋台村



平成23年2月、これぞ小清水実行委員会が「小清水屋台村」を開催。「特大でんぶん団子」で世界一の認定を受け、ギネスブックに掲載される。

この話題がNHKラジオ放送で全国に紹介され、放送を耳にした山口油屋福太郎山口社長がNHKに照会。小清水町で開催されたことを知り、JAこしみずに「でんぶん」についての問い合わせがある。

3月・山口社長が単身でJAこしみずを訪問し、でんぶん製造や販路等について情報交換し、その帰途の際に閉校していた水上小学校を見学し、校舎を利用した工場新設に興味を持たれる。

4月・福岡の工場視察の要請をいただき、町長とJA組合長で福岡県本社を訪問。
6月・山口社長が再来町し、水上小学校はじめ閉校予定5校の視察と事務的協議を行う。

「でんぶん」の安定的な確保を含めた条件等が整えば工場新設を進めたい旨の回答を得る。町議会に経過を報告し、誘致を図る基本的方針を説明し、了承を得る。

7月・町長、議会議長、町担当課長で福岡を訪問し、諸条件の提示と説明。

8月・北陽校及び水上校の所在地域において、これまでの経過、進出企業の概要と学校を譲渡する方針等について説明、協議を図り了承を得る。

9月・北陽小学校及び水上小学校の2校の買付申出書を受理。
町より不動産売渡承諾書を提出。2校の売却による工場進出が確定する。

せんべい工場が
小清水町へやってくる

愛ホールにて仮契約式



△仮契約式の様子



△仮契約式の様子

左より、林町長、立会人 中村俊之さん、山口社長

2月11日(土)、第二回小清水屋台村(これぞ小清水!!実行委員会、小清水青年会共催)が愛ホール及び、トレーニンングセンター前駐車場において開催されました。愛ホールでは、町と辛子めんたいごなどを製造・販売する(株)山口油屋福太郎(福岡市)と小学校校舎(北陽水上)の売買に関する仮契約式が、町民約250名が見守る中、執り行われました。

仮契約式後には同社の山口毅社長による講演が行われ、小清水町へ工場進出を決めた経緯などが語られました。(講演会要旨は下段に記載しています)

また、屋台村会場では、でんぶんだんごや沖縄そばなどの飲食店、大滑り台やスノーモービル牽引バナナボートなどのアトラクション、青年交流会事業にて来町している沖縄県の青年たちによる琉球空手演舞も披露され、訪れた観客や子どもたちで賑わいを見せていました。

「人は人を浴びて人となる」

(株)山口油屋福太郎
代表取締役社長 山口 毅 氏

私は家内のおやじが食用油の店をやめるといっているので跡を継いだ。油はそんなに利益がとれず、食材の卸に転向したが、そうもうからない。たまにたまもらった辛子めんたいごを食べたらおいしくて、ごはんのおかずを作ろうと思いい立ち、めんたいごを作ることにした。

めんたいごは賞味期限がある。何か期限が長くなるものがないかと考えた。ビールの売り上げが伸びていたので、酒のつまみを作れば売れると考え、試行錯誤して作ったのが「めんべい」(めんたいご味のせいべい)。

北海道のお土産は甘いお菓子が先行している。辛いものを作ればおもしろいと思ったし、色々な可能性があると思った。

小清水町は素晴らしい町。人口は少ないが、町が人口を1人ずつ増やしていきたい



記事スペースの都合上、省略・文言修正をしています。

思う気持ちがあり。この現状をどうしていくか、どうしたら良いかがハッキリとわかっている。今、小清水町の農業はつくる農業だが、流通まで考える農業にすればこれからもっと開けていく。

私はこれからもまだまだいける。頑張りたい。これから、小清水町のために役に立ち、小清水町の人たちに福太郎が来て良かったと思われるように一体となって小清水町を発展させたい。